

## 第4回 光駅周辺地区拠点整備基本構想検討会議 会議録

日時：平成30年10月3日（水）18：30～20：00

場所：光市役所3階大会議室1・2号

### 【出席者】

- ・委員：14人（代理出席2人、欠席4人）
- ・事務局：6人、株式会社荒谷建設コンサルタント：2人

### 1 開会

#### ● 事務局

新任委員のあいさつ、代理出席者の報告、会議資料の確認

### 2 会長あいさつ

皆さん、こんばんは。第4回の検討会議まで少し間が空いたが本日はよろしくお願ひしたい。人口5万人都市の駅の役割を議論してきているわけだが、そこを具体的に皆さんの意見でどういう役割を担うのか、また、そもそも拠点とは何かということも議論していきたい。

先程、駅で休憩をするためコンビニに寄ったが、この時間になると学生、さらに主婦、サラリーマン、作業員が非常に多く、駅前のコンビニに押しかけているという状況を見て、これを光市版の駅前の拠点、空間、南北景観にどう発展的に考えていくべきか考えさせられた。この会議を、そういったところも踏まえ、大いに議論していきたい。

よろしくお願ひしたい。

### 3 議題

#### ● 会長

議題に入る前に、前回の会議で委員の皆様から意見を出していただいたが、それに対しての事務局から報告があるようなので、事務局から報告をお願ひしたい。

#### ● 事務局

<事務局より資料1～2ページに基づいて説明>

#### ● 会長

事務局から前回の課題や修正等含めて報告があった。この件について何か質問等はあるか。  
⇒意見なし

#### (1) 地区に必要な役割と機能（案）について

#### ● 会長

議題（1）地区に必要な役割と機能（案）について、事務局より説明をお願ひしたい。

#### ● 事務局

<事務局より前回会議以降に行われた「個別ヒアリング」や「若者ワークショップ」の報告及び「構想検討フロー」、「地区に必要な機能と役割」について、資料3～18ページに基づき説明>

● 委員

どういう意見をどういう風に裏付けたかの整理があった方が良いのではないかと感じた。若者ワークショップや個別ヒアリングの意見を整理した整理表があるだけで説得力が違うのではと感じた。異論があるわけではないが、意見を踏まえたプロセスが見えにくいので、そういったものもあれば良いと感じた。

また、14 ページ以降については、どういった範囲をこのエリアとして想定するのか、後々違和感のないように進めていけばより良いという感想を持った。

● 会長

1 点目は、13 ページの根拠もしくはそのバックグラウンドをもう少し簡潔に整理されたらどうかということだった。個別ヒアリング、ワークショップ、アンケートの3つからこの結果がでてきていることを丁寧に説明したほうが良いのではということ。

2 点目は、14 ページ以降のところ、あとから出てくるゾーニングのところに関連した形でエリアの説明を付け加えたらいかがかという指摘だった。いかがか。

● 事務局

まず1 点目は意見がどう反映されているかというひも付き関係のご指摘だった。現時点きちんと整理したものができていないが、個別ヒアリングやワカモノワークショップ、或いはこの検討会議の意見も踏まえて、意見全体を整理していく必要があると考えているので、今回の結果も踏まえて今後そうしたものを整理してお示ししたいと考えている。

● 事務局

2 点目のお尋ねに対してだが、説明過程での見せ方の工夫、資料作りについては検討させていただきたい。

● 委員

14 ページの「駅近接エリアの利便性の向上」というところで情報発信機能やトイレ等の利便設備の充実ということだが、この中で学生、高齢者、来街者とあるが、今一番障害者の方が不便と感じていることは障害者用のトイレがないことである。この中に「障害者」という言葉を入れておいてほしい。利便性という言葉を入れるのであれば障害者の方のことも考えて進めていただきたい。

● 事務局

今ご指摘いただいた障害者については、この書き方だと「等」の中に含まれているという認識だが、書き方や見せ方をできる限り工夫していく方向で検討したい。

● 会長

確認だが、「役割2：若者居住を促進するための QOL 向上支援機能」とあるが、いわゆる住環境を高める、生活の質の向上など若者に特化しているのは戦略的に良いが、時代背景から考えると地方都市では、サービス付き高齢者住宅などの立地が進んでいる。高齢者住宅のクオリティを上げていくことはこの役割の中になくてよいのか。戦略的に若者をとにかく駅周辺に住ませたいという意向であるなら書く必要はないが、意外と駅近くのマンションが売れたりするのだが、いかがか。

● 事務局

高齢者の居住を否定するものではないが、にぎわいやうるおいといった観点で拠点づくりを進めていく中で若者居住を打ち出していききたいという考えである。

● 会長

もう少し言わせていただくと、役割1から5を考えていく中で、安心ということはあるが、どちらかというと市外からの人たちの利便性や若者、海沿いのレジャー、観光が前に出てきている気がする。光市の特性を含んだ日常の光市の空間のあり方が少し弱い感じがする。本拠点整備がごく一部の人のためにやりますといったニュアンスに誤解されてはいけないのではと感じたのだが。

● 事務局

前回まで「市民」という言い方をしていたものを「人」と修正したという説明の中で、街の玄関口として光市の市民と、光市を訪れる人を「人」という表現としたため、両方をターゲットとしたものと考えているが、受け止め方としてそういったニュアンスが強いのであれば改めて精査していきたいと思う。

● 会長

先程委員が言われたように整理表等で確認をしていかれたらと思う。もし誤解を与えることがあったら困るので、よろしく願いしたい。

それでは役割と機能についてはおおむねこの方針で作業を進めていってもらおうということではよろしいか。先程、個別ヒアリング、ワークショップ、アンケートの整理をしながら役割の論拠を明確にするということは宿題として残るが概ねこの方向性で基本構想をまとめていくという形でご了解いただけるか。

⇒異議なし

それではそういう方向性で作業を進めていただければと思うので、よろしく願いしたい。

(2) ゾーニング(案)について

● 会長

議題(2) ゾーニングについて事務局説明をお願いしたい。

● 事務局

<事務局より資料19~20ページに基づいて説明>

● 委員

先程の質問に関連付いてしまうが、3点確認しておきたい。1点目は、ゾーニング図の軸、矢印、ABC等の定義付けがない。明確に位置付けないとイメージが伝わりにくいと思う。案といているところもあるが、段階的に少し不明瞭と感じた。

2点目は、検討エリアがこの図の中で切れているのがよくない。例えば駅北ゾーンはどこまで広がっているのかがわからない。検討エリアが切れている状態で見せるのは誤解を生むため、再検討をお願いしたい。

3点目は、性格付けだが、駅北と駅南の幹線道路沿道ゾーンを一緒にしているが本当に一緒に性格なのか。将来的には用途を変えたりするのかもしれないが、そのところを一緒に空間にしないほうがいいのか。駅北側の幹線道路と駅南側の幹線道路は分けて考えたほうが、後々の議論のときに整理しやすいのではないかという感想を持った。気づきというか、私ばかりににくいと思ったところである。ご確認いただければと思う。

● **会長**

3点あった。まず、ABCゾーン、軸が明確な位置付けがなされていないので理解しにくいということ。2点目は、ゾーンが切れているため、どこまでがゾーンとして位置付けられているのか不明瞭であること。3点目は、幹線の沿道ゾーンが1つになっているが、南北で性格が違うのではないか。その3点についていかがか。

● **事務局**

まず、1点目の定義付けのご指摘については、少し分かりにくいところもあるため、ご指摘も踏まえて今後精度を上げていきたいと思っているので検討をさせていただければと思う。2点目は、縮尺を小さくすると細かいところが見えなくなるため大きくしたところもあるが、そうはいいながら全体像がというご指摘なので、どのような形がいいのか見せ方を検討させていただければと思う。3点目の南北の性格付けが一緒でないほうがいいのではないかとこのところでは、確かに南北の用途地域が違うというところもある。このあたりもどのような表記が良いか検討させていただければと思う。

● **事務局**

2点目のお尋ねに関しましては、前回の会議の中でこのたびの構想作りの範囲の目安として高齢者の徒歩圏といわれている駅から500mとした。図にも500mの円を示しているが、構想上500mと示している以上はそのあたりにとどめたほうが良いと思っている。このあたりは少し検討させていただきたい。

● **会長**

500mにしても切れているわけなので、それは整合性を果たしていただきたい。こういったゾーニングをやっていくときに現況の図面の空間的な特徴とセットで、構想のファーストステップの絵を持ってこないと軸やゾーンの位置付けが明確にならない。検討されるということなので、現況図が最初の資料としてあったかと思うのでブラッシュアップして見比べると見やすいのではないか。緑の矢印は何なのか意味不明だが、こういったことも含めて現況と合わせて特徴付けをしてきたほうがわかりやすいのではないか。コメントはあるか。

● **事務局**

緑の矢印は、この一体の中で回遊を生み出していきたいという概念的な空間という意味合いで示しているものである。もう一度あり方を検討させていただければと思う。

● **会長**

それが伝わってないと思うので、よろしくお願ひしたい。

● **委員**

会長が最初の会議のときに範囲をどうするのかご指摘をされた。結局、光駅周辺といったときの概念を物理的にあるいは社会的にどの範囲なのかといったものを積み上げる、もしくは絞り込んでいく作業ができていないからだと思っている。そして、色々な意見を聞いた中で、軸線が11ページで出てきている。ヒアリングの中の、駅周辺にほしい機能についてはそれを成り立たせるために、この範囲のこういうエリアになにかがいるということを経り込まなければならなかったのではないか。だから整理表といったが、漠然としているものを積み上げながら丁寧に見ていかないとゾーニングが良いか悪いかがまだ見えない段階なのだと思う。徒歩圏500mについては、日常歩行圏とするという定義付けがある程度あるが、裏付けとなるものを市民から出ている意見から補強していく必要があるし、実際に光市民が考

える駅周辺のエリアをそのように設定できるのかどうか、それを落とし込んでいけるように組み立てていく必要があるのではないか。実際よく考えておられるが、役割1～5の図の根拠となるものが不明瞭である。これをそのままゾーニングに落とし込んでいける関連性があるような根拠付けがなされていないのでうまく組み立てていかなければ。図を見て強い違和感はないが、それぞれに落とし込んでいくときにゾーニングと直接繋がっているという感じが持ちにくいので補強しながら進めてほしい。これは検討するとのことであったので、そういう意味でのお願いということでご理解いただきたい。

#### ● 会長

丁寧に作業の方針をおっしゃっていただいたので、是非よろしくお願ひしたい。

現光総合病院の場所は、破線円で描かれている。具体的には言えないと思うが、駅周辺の基本構想の中の役割5つのどれかを見直せるという考え方になるのか。

#### ● 事務局

今そういった考え方で5つのゾーンの中の駅南ゾーンの中に入れており、こういったものの一つになってほしいという考えをもって調整を進めているところだが、まだ内部的な調整が整っていないため、もう少し調整にお時間いただきたい。

#### ● 会長

年度末、基本構想がまとまるまでには書けないだろうが、宙に浮くような表記になっているので、表記の工夫をされたほうがいいのではないかと。皆さんいかがか。ゾーニングはかなり全体を含めて要検討なところが多くありそうな気がするが、皆さんもご指摘があれば遠慮なく発言していただきたい。

#### ● 委員

私は徳山駅にも関わっているが、光駅の玄関づくりで、市はどういった形で光市をアピールする駅づくりをするのかということである。徳山と同じ、光もこんな感じかと市民が思うのか。ぱっと見て、私は回遊ゾーンの緑の矢印は理解出来た。

一般市民、若者が虹ヶ浜海岸を拠点として、駅との間でこのように動いてくれたら良いという市の考えなのだろうが、光市が何をメインに考えているのかが、この中ではまったく伝わらないし、高齢者、一般市民、障害者を安全に回遊するだけならば検討会議で考える必要もない。若者、高齢者、商店、他県、他市の人に一回は光市に行ってみようといった、光市に興味を持たせようとするものが見えてこない。今現在、総合病院跡は次の予定はあるのか。

#### ● 事務局

現時点で、病院跡地については、まだ具体的な方向性が決まっているわけではなく、検討中の段階である。

#### ● 委員

若者の「ショッピングモールがほしい」という意見があったが、正直、回遊ゾーンの中にある病院をそのまま活用するのであれば、全国的に話題になるかもしれない。徳山の駅ビルでさえ、また、お化け屋敷でも若者は一瞬集まる。光も病院をそのまま利用もしくは売れるまで利用して日本一怖いお化け屋敷を作るなどして、若者ゾーンは右回り、お年寄り左回りで最終的には海岸ゾーンでレジャーなどできる、というような光市の根本的な考えが全然見えてこない。今徳山は変わってきている。商店街も昔からの考え方が変わってきて、色々なところで新しい店ができ、高校生、大学生が駅を拠点に分散してきて回遊する雰囲気が多

少見られる。昔の面影はない。私はそのように思った。

● 会長

光の目指すべき方向性が感じられない、そのあたりを明確にしてもらいたいということであったが、事務局いかがか。

● 事務局

徳山駅の例を出していただいたが、徳山駅とは役割は大きく違うと考えている。光駅がどういうところを目指していくのかということを考えてときに、一番は虹ヶ浜海岸という自然が近接している強みがあるため、これを生かし一定の賑わいというおい空間が共存していくような空間整備をしていく必要があると考えている。

また、3つの本市独自の都市宣言をしているが、本市の総合計画においてもまちづくりの基本として位置付けており、この要素をしっかりと踏まえていくことが本市独自の魅力に繋がっていくと思っている。

● 委員

了解。今の意見を聞いて初めて方向性がわかった。ということは、若者ワークショップCグループの「光、西の湘南へ」を目指す、これを拠点としてというのなら全然問題ない。この近辺でこういった海水浴場はないのでそれをメインで考えるのは問題ない。それがどういった形なのか見えてこなかった。高校生、商店街等の意見を聞いて、駅周辺を通うのならば、やっぱり光市を売るメインはほしい。極端に言うと、最近終活が流行っているので、高齢者を視点に一番終活がしやすいまちなど色々考えがあるが、そこは光市としてある程度打ち出すものがある。

● 会長

1点、先程あった光の特性、方向性を明確にということだった。徳山駅とは乗降客数も違うし、そもそも新幹線が停まる駅という違いなどもあるが、光市なりの特性を出しながら進めていってもらいたい。

これから第2ステージに上がってきて、役割と機能を空間の中にどう落とし込んで光の特性を最大限発揮しながらオリジナリティを出していくかといった作業になってくるので、それを皆さんに意見を言っていただきたい。少しずつ具体的になってきているので、次回以降かなり議論になるということを理解していただきながら作業を進めていただきたい。空間の特性を現況として把握しながら進めていくほうがいいと思うので丁寧に追っていく。そうすると、光の目指すべき方向性が合意に近づくと思うので是非よろしくお願ひしたい。皆さんのほうから他に何かあるか。

● 委員

このゾーン分けは見て想像がつく。もう少し具体的なものに落とし込んでいくというのがこれからの作業ということで少し安心したが、いろんなゾーンがある中でほとんどのゾーンが、促進する空間として位置付けるなど全然見えてこない状態である。

これから細かいところがわかってくるといい。検討会議なのでどこまでやるかは市がすることなので我々がどこまで言っているのかはわからないが。

● 会長

少し私が言い過ぎたかもしれないが、基本構想があつて基本計画と少しずつ具体になっていく中で、今回基本構想ということであってもゾーニングとなると具体的な位置が出てくる

ことになる。位置を出すということはその場所の特性を理解して合意していかないとゾーン設定や軸は書けない。そういった意味で具体的にしてくださいと言った。この空間を色分けするという事は特性を我々がきちんと把握しないと色分けが適切か判断できない。現況を整理して色分けが適切かどうか判断させてくださいというニュアンスで説明させていただいた。何かコメントはあるか。

● **事務局**

まずは基本構想を取りまとめるということで作業を進めている。最終的には構想図を作り、本日の資料よりは具体的なものにする。ただ、まだ計画面の段階なので抽象的な部分もあるかもしれないが、しっかり説明し、ご理解いただけるように整理してまいりたい。

● **会長**

委員、そういう位置付けで検討しておりますのでどうぞよろしくお願ひしたい。

● **委員**

15 ページだが、おっばい都市宣言をしているのに、子育て支援のあたりが少し弱く感じた。

● **会長**

事務局はいかがか。子育て支援についてももう少し強調するなり頑張れないかといったご指摘だと思うが。

● **事務局**

15 ページで「生活の質を高める多様な都市機能の誘導」の中の取り組み例の記述をもう少し強調したほうが良いといったご意見と受け取った。最終的な取りまとめの中でどこまで書けるのかももう少しお時間をいただきたい。

● **会長**

光市は総合計画で明確に位置付けているわけなので、今のご指摘は非常に重要なご指摘ではないか。そこを強調することで光市のオリジナリティがクローズアップされるかもしれない。是非ご検討いただければと思う。そのほかにあるか。本日はゾーニングに関してかなりのご指摘があったし、役割と機能のところの整理をしていただきたいということもあったので、引き続き事務局のほうで作業を進めていただきたい。ゾーニングの前までの方向性はそういった方向で結構だと思う。それでは、議題は以上で終わらせていただいでよろしいか。

**4 その他**

● **事務局**

その他ということで、最後の資料 21 ページ、スケジュールについて確認させていただけたらと思う。本基本構想については、今年度末の策定を目指して取り組んでいる。今回、必要な役割と機能やゾーニングをお示ししたところだが、次回基本構想図を含めた素案になってくる。次回は、11 月下旬に開催したいと考えている。12 月にパブリックコメント、市議会等への提議を行なっていくスケジュールを考えている。検討会議は次回を含めあと 2 回を想定している。引き続きご協力をお願いしたい。

<事務局からシンポジウムの案内>

● **会長**

次回は 11 月下旬あたりで開催予定だということで、皆さんご予定をよろしくお願ひしたい。10 月 31 日のシンポジウムだが、補足すると村山先生は名古屋大学にいたこともあり三重

県の亀山駅周辺のことに携わっていらして、亀山は人口が5万人くらいなのだが今回その事例も少しお話いただけるということである。小林先生は、建築家の先生で姫路駅のデザインに関わられた。協働とデザインとまちづくり、駅づくりかたのようなこととお話いただけると思う。非常に面白いお話が聞けると思うので是非ご参加いただければと思う。よろしくお願ひしたい。

この2点について皆さんにか質問はあるか。ないようであれば、事務局にお返しする。

## 5 閉会

### ● 事務局

本日の会議を終了する。またご意見・ご提言があれば随時事務局に連絡いただきたい。